

草の根・人間の安全保障無償資金協力

「サン・ファン・オピコ市エル・カスティージョ村上水道施設整備計画」 「コンセプション・バトレス市エル・パライスル村上水道施設整備計画」 署名式



2023年10月27日、有吉勝秀駐エルサルバドル日本国大使は、サン・ファン・オピコ市ロベルト・アラス市長、コンセプション・バトレス市ガブリエル・エバリスト・ロペス市長、コンセプション・バトレス市の事業に協力するワールド・ビジョン・エルサルバドル（NGO）のロベルト・ビジャコルタ代表及び裨益地域の住民代表立会いの下、上水道施設整備に係る2案件の贈与契約に署名しました。

これらの案件は約790人の住民及び小学校2校の生活環境を改善するもので、総費用は約495,325米ドル。うち、日本からの協力金額（総額）は273,562米ドルとなります。

両案件は、ラ・リベルタ県サン・ファン・オピコ市と、ウスルタン県コンセプション・バトレス市でそれぞれ実施される予定です。



サン・ファン・オピコ市エル・カスティージョ村上水道施設整備計画

コンセプション・バトレス市エル・パライスル村上水道施設整備計画

両案件は、裨益対象地域全世帯の給水問題を解決し、水汲みによる重労働から女性や子ども、高齢者を解放し、生活用水の購入による経済的負担をなくすものです。

また、実施に際しては、裨益住民から構成される組織（村落開発協会）がそれぞれ参加し、自助努力とオーナーシップが促され、長期にわたり上水道施設が大切に維持管理されることを意図しています。



サン・ファン・オピコ市エル・カスティージョ村及びコンセプション・バトレス市エル・パライスル村における上水道施設整備計画に係る署名式

本日贈与契約署名を行った2地区の住民の皆様に対し、お祝いを申し上げます。エルサルバドルと日本は88年間にわたる友好関係にあり、強い友情の絆で結ばれています。この特別な連帯感をもって、日本は国内でも最も脆弱性の高い地域に支援するよう努めています。案件終了時に裨益住民を始めとする関係者の方々の歓喜に満ちた姿に接する際、我々も同様に深い喜びを感じます。

駐エルサルバドル日本国大使
有吉勝秀

日本国大使館、及び協力いただいた全ての方々に感謝申し上げます。我々の地域には多くのニーズがありますが、その中でも水は最も重要なものです。本件の採択に際し、我々を信用してくださり、本当にありがとうございました。

エル・カスティージョ村水管理委員会会長
オスカル・ブラディミール・ペラサ

エル・パライスル村ラ・アレネラ地区の住民に裨益する案件にご支援いただき、日本国民の皆様、ワールド・ビジョン・エルサルバドルに対し感謝申し上げます。上水道施設整備のために長年努力を続けてきた同地区は、国内でも脆弱性の高い地域の一つであり、支援頂いた関係機関に改めて感謝申し上げます。

コンセプション・バトレス市長
ガブリエル・エバリスト・ロペス

ワールド・ビジョンにとって、日本国大使館と共に、当国の草の根レベルに直接裨益できる事業に協力できることは大変光栄です。今後とも、ワールド・ビジョンを事業パートナーとして考慮頂ければ幸いです。

ワールド・ビジョン・エルサルバドル代表
ロベルト・ビジャコルタ

在エルサルバドル日本国大使館が「草の根・人間の安全保障無償資金協力」を通じて実施している案件は、「人間の安全保障」の概念である「人間一人ひとりに着目し、生存・生活・尊厳に対する広範かつ深刻な脅威から人々を守り、

それぞれの持つ豊かな可能性を実現するために、保護と能力強化を通じて持続可能な個人の自立と社会づくりを促す考え方」のもと、エルサルバドル国民、特に国内でも最も脆弱な地域の生活環境の質を改善しようと試みるものです。